



学校だより

9月 第392号

令和5年8月31日 発行

横浜市立六つ川西小学校 (TEL) 742-6301 (FAX) 743-2394

URL <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mutsukawanishi/>



～生成 AI とこれからの学校教育～

学校長

暑い長い夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。

明るくさわやかな挨拶の声に励まされ、やはり、学校の主役は子どもたちであることを実感します。今年の夏は、局地的な大雨や台風による被害、熱中症や水難事故等の報道に心を痛めることが多くありました。子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう、改めて校内の安全対策を職員と確認したところです。

一方、コロナ禍でしばらく途絶えていた地域のおまつりが再開したり、長く会えなかった人との久しぶりの再会を喜んだりする声も聞かれ、新たな時代の幕開けを実感する夏休み明けのスタートとなりました。

夏休みの課題をお知らせする時にもお伝えしましたが、世の中では*ChatGPTをはじめとする生成AIが話題になっています。

とても便利なこの技術は、これからの社会を大きく変える力をもっています。

私も試しに使ってみました。発展途上のこの技術には、まだまだ多くの課題が残されていることにも気付きました。

試しに自分がよく知っていることを生成AIに問いかけると、誤りを含む内容があたか

も正しいことであるかのように出力されていることがわかり「全く信用できない！」と嘆く一方、自分があまり知らない内容を問いかけると、その回答を強く信じようとする自分がいることにも驚かされます。

例えるならそれは、自分の経験や同乗者の声よりも車のナビゲーションシステムを信じて渋滞にはまった時の何とも言えない感覚に近いものでもありました。

以前、外国語の先生と「これからの子どもたちに身に付けさせたい英語でのコミュニケーションスキル」について話し合ったことがあります。その先生は、「例えば、駅のホームで外国の人にトイレへの行き方を道案内する際、相手の性別や年齢など様々な状況を瞬時に判断して適切に伝えることができる力！これは、AIにはできないよ。」と教えてくれました。

相手との関係の中で状況や感情を理解し、適切なコミュニケーションをとろうとするスキル(力)が今、求められています。

子どもたちには、AIが発展する社会の中でも、その渦に飲み込まれるのではなく、上手に付き合い、その技術を使う側の人間に育ってほしいと願っています。



* ChatGPT…13歳以上の使用に限られ、18歳未満は保護者同意が必要です。

【生成AIの利用に関する暫定的ガイドライン】https://www.mext.go.jp/content/20230710-mxt_shuukyo02-000030823_003.pdf

のほほの会 8月28日(月)に地域、異学年の保護者、教職員が一緒になり、六つ西の子どもたちのためにできることを「かがやく姿 ひびきあう姿」「いじめについて」それぞれのテーマに沿って話し合いました。

第2回目の開催は、令和6年1月18日(木)です。新しい関係づくりを共に考えていきましょう。

チーム学年経営 六つ川西小学校では、高学年における一部教科分担「チーム学年経営」事業に取り組んでいます。夏休み明けは、高学年だけではなく、中学年にも取り入れていきます。

